

令和3年度実施の認証評価結果における大学等の優れた取組みについて

公益財団法人 日本高等教育評価機構

1. 大学

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 1. 使命・目的等	1-1. 使命・目的及び教育目的の設定	SBI 大学院大学	「経営に求められる人間学の探求」を大学の個性・特徴の一つとして掲げ、実務的な能力だけでなく、ぶれない判断力を形作る「人間学」を持った次世代リーダーの育成を目指しており、多くの学生が受講していることは高く評価できる。
		大妻女子大学	時代の急激な変化と社会の変貌に伴い、具体的な女性の育成像を見直すため、平成 20(2008)年の創立 100 周年、平成 30(2018)年の創立 110 周年を機に、建学の精神を継承しながらも、大学の使命及び教育目標を機動的に見直している点は評価できる。
		鎌倉女子大学	必修科目「建学の精神」「建学の精神実践講座」が、現代の女性の生き方について主体的に考え、教養を高めることが可能な内容となっている点は、評価できる。
		鎌倉女子大学	学びの文化として、授業の開始時・終了時、登校時・下校時に全教職員及び学生が「一礼の姿勢」をとる慣わしになっていることは、評価できる。
		日本歯科大学	明治 40(1907)年の建学以来、長きにわたる伝統を継承しつつ、学部や研究科の名称を変更し、教育目標を時代の変化に対応すべく努力している点は評価できる。
		比治山大学	文部科学省の大学教育再生加速プログラムに採択され、6 年間にわたり、アクティブ・ラーニングの推進及び学修成果の可視化に真摯に取組み、「大学教育再生加速プログラム委員会」による事後評価においても、成果が認められた点は評価できる。
	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映	広島文化学園大学	平成 28(2016)年 11 月に文部科学省の私立大学研究ブランディング事業において、「地域共生のための対人援助システムの構築と効果に関する検証」が選定され「広島文化学園対人援助研究センター」を設置し対人援助を中核とした教育・研究を推進するなど教育方針の実質化、浸透、向上のための実践は評価できる。
		大妻女子大学	理事長の諮問機関である将来展開委員会が中心となり、使命・教育目標の見直しを含む中期計画策定の検討過程において、中堅・若手の教職員が中心的役割を担い、その進行状況については、教職員で情報の共有を行うなど、使命・目的及び教育目標の策定などに教職員が積極的に関与・参画している点は、評価できる。
		静岡理工科大学	令和 4(2022)年度開始予定の法人及び大学の「第 4 次中期計画」の策定に当たり、法人の将来を担う多くの教職員が参画して「学校法人静岡理工科大学グループビジョン 2030」を制定したことは評価できる。
		十文字学園女子大学	創設以来、99 年にわたり建学の精神を歌詞とした「学園歌」を受継ぎ、さまざまな機会を捉えて、学生、教職員に建学の精神の理解と浸透、醸成に努めていることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 1. 使命・目的等	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映	昭和大学	教職員の入職及び学生の入学時における「建学の精神、昭和大学宣言カード」の配付や、理事長・学長の講演、オリエンテーションでの説明など、さまざまな機会を通じて建学の精神についての理解を深めていることは評価できる。
		長崎外国語大学	建学の精神、使命・目的及び教育目的を総括する研究機関として、平成 28(2016)年 4 月に創設された「新長崎学研究センター」における新たな大学の進化に向けた取組みは評価できる。
		名古屋文理大学	使命・目的及び教育目的について、分かりやすく解説した小冊子を作成し、初年次教育の中で理事長が学生に説明するなどして、周知に努めていることは評価できる。
		名古屋文理大学	数的処理能力の向上を目指す教育を推進するために「基礎教育センター」を設置し、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度」の認定大学になっていることは評価できる。
		北陸大学	「北陸大学証」を定め、大学の使命・目的等を含む教職員の行動規範を広く学内外に宣言することで教職員の意識を高め、かつ大学の改革・改善につなげている点は評価できる。
		北海学園大学	「北海学園大学コミュニケーションマーク」という独自のブランドマークを制定し、使用ルールを設けない、自由で創造的な活用を通して、大学の個性や特色を統一的に社会にアピールしていることは評価できる。
		武蔵野音楽大学	使命・目的及び教育目的などを学長による学内関係者への説明、ホームページ、シラバス、学生便覧、各種資料の配付などにより学内外へ周知を徹底する姿勢は評価できる。
		麗澤大学	「Reitaku University Vision 2035」を策定し、使命・目的及び教育目的の実現のための数値目標を設定するなど、中長期計画に反映させていることは評価できる。
基準 2. 学生	2-1. 学生の受入れ	SBI 大学院大学	社会人が仕事との両立を図ることができるよう 5 年間の長期履修制度を設けており、実際に利用者が多いことから、制度が有効に機能している点は評価できる。
		江戸川大学	多様な人材を受入れる入試のあり方について検討した上で、調査書の活用による主体性評価、英語 4 技能の評価等、各選抜での学力の 3 要素の測定を重視した選抜方法を行っており、これらを「入試ガイド 2020」のチャートに載せ評価方法を分かりやすくしていることは評価できる。
		大妻女子大学	「大妻女子大学アドミッション・オフィサーに関する規程」に基づいて職員の中からアドミッション・オフィサーを複数人任命し、全学的な視点から各学科・専攻の教員と協働して評価、合否判定、学生募集に係る企画立案を行い、公正かつ妥当な入学者選抜の体制を構築している点は評価できる。
		九州国際大学	毎年度、学科及び入試区分ごとに入学後の学生の成績推移を追跡調査し、選抜方法の検証を実施するなど、単位修得率の向上に役立っている点は高く評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-1. 学生の受入れ	京都先端科学大学	学生の学内生活を SNS 上に発信し、高校生の認知や学生の受入に役立っている点は評価できる。
		昭和音楽大学	令和 2(2020)年度から、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、従来の対面式の入学者選抜に加えてオンライン式の入学者選抜を導入し、作業部会を設置して所管の保健所の指導のもと事前のシミュレーションを行うなど、丁寧な対応が取られている点は高く評価できる。
		帝京大学	入学試験における面接において、全学的にルーブリック評価表を導入して、公平性を保ちながら各学部のアドミッション・ポリシーに即した学生を選抜している点は評価できる。
		同朋大学	建学の精神や教育目的を踏まえ、シニア入学や障がいのある学生対象の総合型選抜等を設け、多様な学生の受入に積極的に取り組んでいることは評価できる。
		函館大学	「推薦系」に学力試験を課し、「試験系」に面接試験を課すという入試方法を採用しており、入学者の学力をより正確に把握することで、画一的ではない入学前教育の実施や入学後のきめ細かなリメディアル教育の実施につながっている点は評価できる。
	2-2. 学修支援	愛知文教大学	「E ラウンジ(English Lounge)」は英語が堪能な外国人留学生が、「CC ラウンジ(Chinese Communication Lounge)」は中国語が母語である留学生がそれぞれ SA としてレッスンを担当し、日本人学生と交流する仕組みを築いている点は評価できる。
		SBI 大学院大学	ラーニングスタッフを適正に配置し、学生からの質問・相談を円滑に受付ける体制を整備するなど、学生と教員との密な連携が行われている点は評価できる。
		江戸川大学	「基礎・教養教育センター」と学務部教務課の協働で管理・運営している「アクティブ・ラーニング・スタジオ」では、補習担当教員や SA を配置することによって学生が自律的に学修する習慣を育む環境として十分に機能している点は評価できる。
		江戸川大学	「エドリル」などの e ラーニングシステムを学生の学び直しの機会や入学前教育にも取り入れており、それらのデータを適切に教職員間で共有し日常的な学修支援体制が構築されている点は評価できる。
		嘉悦大学	聴覚に障がいのある学生に対する支援として、音声認識システムの導入だけでなくパソコンノートテイクも配置して対応している点は評価できる。
		鎌倉女子大学	クラスアドバイザーを中心に複数の教員が、学修や進路などさまざまな学生の悩みに、丁寧に時間をかけて面談し、必要に応じて保証人とも相談を行うなどの支援で、低い水準の退学率、休学率、留年率を維持していることは、評価できる。
		神戸芸術工科大学	保護者向け情報誌「KDUi」の作成や、保護者を対象とした「教育懇談会」の定期的な実施を通して、保護者の教育・研究への理解向上を促進している点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-2. 学修支援	神戸国際大学	経済学部における留学生サポーター制度及び学生の目線に立った内容で実践しているリハビリテーション学部のオリター制度は、大学生活を充実させるための支援として優れており、高く評価できる。
		志學館大学	障がいのある学生へのサポートについて、学生同士のピアサポートを制度化し、障がい学生サポーターを養成するなど配慮していることは評価できる。
		静岡理工科大学	「修学ポートフォリオ」を保護者も常時閲覧できるようにし、欠席状況の改善に寄与している点は評価できる。
		昭和大学	前年度の成績が奮わなかった学生に対して、学修支援担当教員が科目責任者や指導担任と連携してきめ細かい指導をしている点は評価できる。
		東京工科大学	ネットワークサービスを通して蓄積された学生の出席をはじめ、さまざまなデータを「中核データベース」に集約し、学生状況を把握することで問題の早期発見を可能とする体制を整えていることは評価できる。
		西日本工業大学	教職員の協働作業による学生の週単位の欠席調査を教員間で情報共有をすることにより、早期に適切な履修指導を行い、休退学者数の減少につなげている点は評価できる。
		日本歯科大学	両歯学研究科において、学位の質や研究力を担保するために、研究中間発表会や「English 学内発表会」を実施していることは評価できる。
		函館大学	「入学前相談書」制度に基づいて、健康に不安のある学生、サポートを要する学生に対応する「チーム支援会議」が、教員、職員のみならず臨床心理士、看護師を含めて構成され、学修支援を実施している点は評価できる。
		広島文化学園大学	学生とのコミュニケーションを重視してチューター制等の仕組みを整備し、入学時から卒業まで一貫した学修支援を行っている点は評価できる。
		びわこ学院大学	在学中の学びの記録ファイルとなる「学修の記録」は、学生が4年間の学修計画を立て、その進展状況を自ら確認・評価することができる取り組みであり評価できる。
		富士大学	教職協働による中途退学や休学、留年等への対応について、「四者面談」を通じての相談や助言等による、きめ細かい指導による真摯な取り組みが行われている点は高く評価できる。
	麗澤大学	大学の出席管理システムなどと連動した学生の学修活動の把握に基づき、欠席しがちな学生の情報を早期に収集し、教職員で共有することにより、学修指導や履修指導において、素早く細やかな対応が行われていることは評価できる。	
	2-3. キャリア支援	SBI 大学院大学	修了生の希望者が会員になる「修己会」があり、学生団体との連携をはじめ、学生との人的交流の活発化を図っていることは評価できる。
	大妻女子大学	産業構造や社会構造の変化に対応し、ビジネス社会、地域社会、家庭で活躍していく女性のために、全学部の学生や卒業生をはじめとする社会人女性を対象とした正課外講座「大妻マネジメントアカデミー(OMA)」を開講している点は高く評価できる。	

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-3. キャリア 支援	鎌倉女子大学	「Career Guidebook」に「障害のある学生の就職活動」という項目を設け、就職活動の進め方に関する情報を広く公開するとともに、教職員が連携して障がい種別・状況に応じた個別支援を実施している点は評価できる。
		京都先端科学 大学	留学生に対して、卒業後も在留することを想定した留学生専用のガイダンスが行われ、大学の個性を生かした支援に取り組んでいる点は評価できる。
		神戸国際大学	公務員志望の特に成績優秀学生に対し、ダブルスクールへの学費支援といった、資格取得の奨励を通じて積極的な就職支援を行っていることは、高く評価できる。
		志學館大学	資格取得について、資格センターが各種の資格講座を運営し、大学の専任教員が講座の多くを受持つことで学生の受講料負担の軽減に寄与しており、実際の資格取得及び就職に結びついた事例が多数あることは評価できる。
		静岡理工科大 学	学生の就職活動支援の一環として、「遠隔地就職活動補助制度」を設け、交通費補助、宿泊費補助を行っている点は評価できる。
		仁愛大学	「福井県インターンシップ制度」「中小企業職場見学バスツアー」「業界研究セミナー」など、地域の中小企業と連携した就職活動支援の取組みを充実させることで、福井県内を中心とした地元就職率の高さにつなげている点は評価できる。
		名古屋文理大 学	企業ニーズ調査、業界団体との交流などを通して、積極的に求人開拓の努力を行っていることは評価できる。
		日本歯科大学	生命歯学研究科において、知的所有権の重要性についての指導を実施していることは評価できる。
		ハリウッド大 学院大学	カリキュラムの中に、ビューティビジネス専門職大学院としての特色が表れたキャリア支援科目を用意するなど、キャリア支援の体制が充実している点は評価できる。
		比治山大学	「JOB HUNTING GUIDE」は、就職活動に関する情報が網羅されており、優れたキャリア支援ツールであることは評価できる。
		びわこ学院大 学	全学的なキャリア支援体制として、1年次から大学独自の進路支援「びわ学キャリア塾」を実施し、学生一人ひとりの進路希望に合わせたキャリア支援を組織的・計画的に実施していることは評価できる。
		北陸大学	経済経営学部及び国際コミュニケーション学部の留学生の大学院進学を積極的に支援するため、進路支援課と進路支援委員会が多様な取組みを実施するほか、ゼミの担当教員も支援を行っており、多くの進学希望者が大学院に進学している点は評価できる。
北海学園大学	キャリア支援センター職員が北海道商工会議所連合会と連携し、企業側の受入れ体制など、具体的な情報について意見交換を実施していることは評価できる。		
ヤマザキ動物 看護大学	認定動物看護師資格取得のための学生対策委員を選出し、学生の主体的活動を通じた受験対策によって、高い合格率を維持していることは評価できる。		

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-3. キャリア支援	麗澤大学	「全員面談」や担任制度など学生一人ひとりに対応するシステムを基礎としてキャリアに対する積極的な取組みを涵養するための全学的な運営が行われていることは評価できる。
		大阪音楽大学	「遠隔地出身者支援給付奨学金」をはじめとする大学独自の給付奨学金、授業料減免、助成金など、多様な奨学金・支援制度が設定されており、学生の学修機会拡充につながっていることは評価できる。
	九州看護福祉大学	「貸与奨学金制度」「特待生制度」といった奨学金制度に加え、大学独自の「遠隔地出身者の帰省旅費支給制度」、また新型コロナウイルス感染症の緊急支援策として「緊急授業料減免制度」「学修支援金の給付」「学内学修環境の支援」など、多数の経済的支援を行っていることは評価できる。	
	九州国際大学	学生の交流の場で気軽に心身の相談を行う学生相談室の「やわらかカフェ」の取組みは、学生からの評判も高いことから評価できる。	
	静岡理工科大学	安価な費用で入居できる民間社員寮の確保に加え、民間アパートに一人暮らしする遠隔地出身の学生に対して住宅費補助を行っている点は評価できる。	
	十文字学園女子大学	健康管理センターは、診療所として埼玉県から認可されており、産業医と保健師が常駐する体制は評価できる。	
	昭和音楽大学	大学と卒業生組織でタイアップした、食育の観点から実施している100円朝食メニューに加え、コロナ禍における経済的支援のための200円夕食メニューの提供は、学生の満足度も高く、時節を見据えたユニークな学生支援として評価できる。	
	同朋大学	成績優秀な学生に対する「同朋大学共育後援会奨学金」「同朋大学同窓会奨学金」をはじめとして、家計が急変した学生や障がいのある学生への「同朋大学共育後援会特別奨学金」「学修支援奨学金」「障害学生奨学金」「東本願寺奨学金」を整備し、学生への経済的支援を積極的に行っていることは高く評価できる。	
	長崎外国語大学	建学の精神及び外国語学部という特長を生かした課外活動として、学生がボランティアで、各種イベントでの通訳や、毎年開催される平和祈念式典で海外からの賓客のアテンドの業務等を行っていることは評価できる。	
	奈良大学	調理実習・栄養指導などを行う「学メシプロジェクト」は学生の健康支援の一助となっている点は評価できる。	
	日本歯科大学	学生相談室において、臨床心理士による予約制のカウンセリング体制を整備していることは評価できる。	
	梅光学院大学	「留学生サポーター」「入学生サポーター（Buchisサポーター）」「図書館サポーター」という学生が学生をサポートする体制が整えられており、学生からも高評を得ている点は評価できる。	
	北陸大学	大学独自の各種奨学金制度を設け、留学生を含む多くの学生に対して積極的な経済的支援策を講じている点は評価できる。	
2-4. 学生サービス			

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-4. 学生サービス	北海道科学大学	食生活の改善に力を入れ、食堂メニューや施設環境の改善、複数食堂業者の採用による競争、単身生活学生の朝食支援などを学生父母の会である「親交会」及び「学生医療互助会」からの支援を受けて行っていることは評価できる。
		武蔵野音楽大学	返還義務のない独自の奨学金制度を設けており、令和3(2021)年度に対象・給付額・採用数等大幅に拡充したことは評価できる。
		麗澤大学	1年次からのカリキュラムで提供されるPBLでの「自主企画ゼミナール」などから発生する課外自主活動団体に対して「社会問題解決プロジェクト」という運動部、文化部に加えた新しいカテゴリーを創設し、活動団体の学友会組織への参加を勧め課外活動の活性化を図るとともに、課外活動として支援していることは評価できる。
	2-5. 学修環境の整備	大阪音楽大学	音楽大学として教育研究目的を達成するための施設が充実しており、学修成果の発表や実践的な学びの場、社会連携活動の一環として公開講座や公演などが開催できる場としても機能していることは、評価できる。
		金沢学院大学	ウエイトリフティング場、トレーニング設備、アスリート食堂などを設置・運営することにより、スポーツ科学部などの教育効果を高めている点は評価できる。
		神戸国際大学	図書館及び一般講義に地域住民を受入れる「フレンドシップ会員」制度が、地域交流の促進に寄与している点は評価できる。
		神戸常盤大学	法律に基づく登録衛生検査所として「PCR検査センター」を学内に開設し、学生の学修環境や地域社会の安心・安全に寄与している点は評価できる。
		静岡理工科大学	「地域に開かれた大学」として実験・研究施設及び設備を近隣企業に開放し、多くの企業が利用している点は評価できる。
		昭和大学	医学部でバーチャル・リアリティ型臨床医学シミュレーションソフトウェアを導入・活用するなど、シミュレーションを活用して、臨床現場を想定した実践的な技術の習得を進めていることは評価できる。
		昭和音楽大学	図書館にポイント制度を導入し、図書館を多く利用する学生に対して貸出し条件を広げるなどのサービスを展開するとともに、利用促進と利用マナーの向上につなげている点は評価できる。
		帝京大学	板橋キャンパスでは、全ての講義が録画され、学内で視聴することが可能な授業収録配信システムを整備し、学生の復習に役立てている点は高く評価できる。
		東京工科大学	スクールパスに低ステップバスやノンステップバスを積極的に導入していることは、バリアフリーの観点から評価できる。
		奈良大学	図書館施設及びその蔵書数、博物館施設、版木資料の閲覧検索システム等の整備を進め有効に活用している点は、評価できる。
		日本歯科大学	生命歯学部においては、本館エントランスに防災センターがあり、24時間常駐体制による警備員の巡視が行われ、建物内外にある防犯カメラにより学内の安全性確保が図られていることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-5. 学修環境の整備	日本歯科大学	生命歯学部において、附属病院に歯科医師に必要な技術や救急救命の実習ができるスキルラボ室を設けていることは評価できる。
		富士大学	大規模で設備の充実したスポーツセンターは、学生の健康・学修環境の維持に大きく貢献しているほか、外部利用者を広く受入れることにより地域社会との連携にも役立っている点は評価できる。
		武蔵野音楽大学	音響に優れた複数のコンサートホール、リハーサルホールを有しており、最適な音響を考慮したレッスン室が設置されていることは、音楽大学の学修環境として優れており、学生の学修成果及び意欲向上に資する点は高く評価できる。
		武蔵野音楽大学	「楽器ミュージアム」は、学芸員課程実習施設のみならず、希少な楽器や資料の保全の観点からも文化的・歴史的価値が大きく、一般社会にも門戸を開いていることから社会貢献においても優れた施設である点は高く評価できる。
		麗澤大学	授業以外でも英語の能力が磨けるよう、校舎「あすなる」に「iFloor」が設置され、「CEC」に英語を母語とするスタッフが常駐し、気軽に英語を楽しむながら英語の実力を身に付ける場が提供され、授業以外の場で学生の語学コミュニケーション能力の向上が図られていることは評価できる。
	2-6. 学生の意見・要望への対応	愛知文教大学	新入生全員に対する「学長昼食会」の開催や、学長出勤時に学長室のドアを開放し、学生が自由に学長を訪ねることができるなど、学生から生の声を聴取し、教育研究活動改善に生かしている点は高く評価できる。
		江戸川大学	学長が直接学生と会話しながら、学修環境やキャンパス整備状況について意見を交わす昼食会などの機会を設け、キャンパス整備計画や事業計画の立案に反映させる体制が整えられている点は評価できる。
		九州国際大学	学生による「授業アンケート」で結果の良い教員を優秀教員として表彰する一方、改善が見られない教員に対して役職者による面談指導を実施している点は高く評価できる。
		静岡理工科大学	前・後期に各 2 週間、原則全科目で、全教職員、全学生、保護者、一般人が参加できる形で公開授業を実施している点は評価できる。
		昭和大学	教育委員会に学生教育委員が参画し、教育上の意見聴取を行うとともに、学生・教職員による学生懇談会では、学生からの意見・要望をくみ上げ、教育改善、学生生活の改善につながっている点は評価できる。
		同朋大学	学生・教員・職員で構成される三者協議会を制度化して、大学の教育・研究・運営全般について意見交換・協議を行って大学運営の改善に努めている点は評価できる。
基準 3. 教育課程	3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定	鎌倉女子大学	「非常勤講師懇談会」を実施し、教育方法を共有するだけでなく、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーについても直接説明する機会を設けることで、教育の質を保つ工夫を行っている点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 3. 教育課程	3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定	帝京大学	学生に修得を保証する資質・能力を、社会情勢や学問の変容・発展を踏まえて「修得目標」として再定義し、ディプロマ・ポリシーを具体化・補完して資質・能力の育成、評価に活用する取組みは高く評価できる。
		比治山大学	各学科・コースのディプロマ・ポリシーについて更に具体的な目標（ディプロマ・サプリメント項目）を示した上で、卒業時点で「ディプロマ・サプリメント」を配付し、個々の学修成果を把握できるようにしている点は評価できる。
	3-2. 教育課程及び教授方法	愛知文教大学	1年次秋期に国際日本コース以外の学生全員が参加する国外での語学研修を実施し、その渡航費等の全費用を大学が奨学費として負担している点は高く評価できる。
		SBI 大学院大学	演習科目の「事業計画演習」では、実務家担当教員の指導に加えて最終報告会において投資会社の役員など外部の評価員の参加も得るなどして、その成果がエンジェル投資先の候補になっていくなど、より実践的な学修を行っている点は評価できる。
		岐阜女子大学	執筆者を明示した授業科目や資格取得のための大学独自の各種テキストを作成・活用しており、どの教員に質問すればよいか明らかであり、学生から好評である点は評価できる。
		岐阜女子大学	「基礎力のための年間履修計画表」を策定しており、4年間にわたる履修の計画が使用するテキストや課題図書を含めて一目で分かるようになっていることは評価できる。
		九州国際大学	初年時の教養教育として行われている全学共通教育科目である「アカデミックスキル(思考)・(表現)」の共通テキストとして、「マナビのトビラ」を独自に作成・利用している点は評価できる。
		京都先端科学大学	京都の企業や海外に進出している企業での長期インターンシップに参加できる「アドバンスト・インターンシップ・プログラム(AIP)」及び「グローバル・インターンシップ・プログラム(GIP)」、学内設置の店舗「京學堂」での体験学習、「作物栽培実習」等、授業内容・方法が工夫されている点は評価できる。
		神戸芸術工科大学	留学生の入学者数増加に対応するため、大学院カリキュラムに「ジャパニーズコミュニケーションⅠ」「ジャパニーズコミュニケーションⅡ」を設定するなど、対策を講じている点は評価できる。
		神戸国際大学	経済・ビジネス分野における有為な人材を育成するために設置されている実務家教員による実践講義は、PBL(Project Based Learning)科目やインターンシップ科目との連携により就職活動に生かされている点で評価できる。
		志學館大学	アクティブ・ラーニングやインターンシップなど、地域に密着したカリキュラムを積極的に編成し、授業方法の工夫に努めていることは評価できる。
		静岡理工科大学	全ての科目において、35項目ある「自己評価レポート」の提出を求め、FD活動に加えて「授業改善学生アンケート」との相関性等をIR(Institutional Research)と関連付け、授業改善の取組みを行っている点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準3. 教育課程	3-2. 教育課程 及び教授方法	静岡理工科大学	アクティブ・ラーニングを六つに類型化し、履修要項にそれぞれのアクティブ・ラーニングの講義回数を記載することで周知し、実施している点は評価できる。
		修文大学	入学生に対して、基礎学力を補うためのリメディアル教育を目的としたリメディアルセンターを設置し、積極的な学修支援を実施していることは評価できる。
		修文大学	新型コロナウイルス感染症への対応として、遠隔授業規則の制定、オンライン教育センターの設置、劇団員を活用したオンライン実習授業の工夫を迅速に行い、学修に有効な取組みを展開していることは高く評価できる。
		昭和大学	初年次全寮制教育を導入し、4学部共同生活を通してコミュニケーション能力や豊かな人間性などの社会性を身に付けるための環境を構築し、更に学部合同の初年次体験実習、PBL(Problem Based Learning)、TBL(Team Based Learning)、学部連携病棟実習が行われており、学生や卒業生から高い満足度を得ている点は、評価できる。
		帝京大学	八王子キャンパスにおいて、アクティブ・ラーニング型授業を実践するための施設が充実しており、その施設を利用して他者と共同する態度や技能を身に付けることができる授業が行われている点は評価できる。
		東京工科大学	着任1年目の教員に参加を義務付けた、教員による「授業参観」を定期的を実施し、教授法についての意見交換の機会を設けていることは、全学的に教育力向上を目指す施策として評価できる。
		日本歯科大学	病院実習と並行して生命歯学部では「口腔リハビリテーション多摩クリニック」、新潟生命歯学部では「訪問歯科口腔ケア科」や「在宅ケア新潟クリニック」などを活用し、訪問歯科診療や口腔リハビリテーション、食育を実践から学ばせていることは評価できる。
		ハリウッド大学院大学	法人の関連企業がビューティビジネスを営んでいることを生かし、化粧品会社・工場、サロンへの訪問、経営に携わる立場の役職者によるレクチャーなど、ビューティビジネスに関しての実践的な教育を行っている点は高く評価できる。
		広島文化学園大学	主体的・能動的・協働的な学びであるアクティブ・ラーニングを教育方法の改革として推進し、その実績を報告書としてまとめていることは評価できる。
		北陸大学	アクティブ・ラーニングに関して、従来型の少人数のグループワークに加え、大人数の授業においても双方向性のある取組みが多く授業で行われていることは評価できる。
		北海学園大学	建学の精神に基づく教育目的を達成するために、「北海道学」「開発研究所特別講義」など、地域に根差した多様な講義を開講していることは評価できる。
ヤマザキ動物看護大学	一般家庭で飼育されている多種多様な犬種を登録し、これらの犬種を対象として実習を行う「モデル犬制度」は大学の特色を生かした教育方法及び社会貢献活動の一環として評価できる。		

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 3. 教育課程	3-2. 教育課程 及び教授方法	麗澤大学	学生が自ら学びたいテーマを設定し、指導を受ける教員を選び、その助言を受けながら計画を立てて学修を進めていくという「自主企画ゼミナール」は、学生の自主的・主体的学修を促進する仕組みとしてのみならず、中にはカンボジアやフィリピン、ネパール社会についての学修から、現地での支援プロジェクトにまで発展しているものもあり、その内容、実績を含めて高く評価できる。
		鎌倉女子大学	アセスメントプランの評価指標として活用するため、「学修環境・行動調査」を毎年実施し、詳細な分析結果を学科にフィードバックして教育の改善に具体的につなげている点は評価できる。
	3-3. 学修成果 の点検・評価	十文字学園女子大学	ディプロマ・ポリシーの達成度について、学生自身が学修ポートフォリオを活用して学内ポータルサイトである「総合教育システム」で検証していることは評価できる。
		帝京大学	八王子キャンパス、宇都宮キャンパスにおいて、学生カルテ、ディプロマ・サブリメントを含む学生ポートフォリオなどを整備し、有効に活用している点は評価できる。
		西日本工業大学	授業科目の GP(Grade Point)分布を学務システム「Active Portal」にて教職員、学生に公表し、成績の公平性を確保するとともに学修成果の点検・評価に役立てている点は評価できる。
		広島文化学園大学	入学時から学生が卒業後のなりたい自分(夢)を設定し、その実現に向けた目標を立て、学生自身が自己点検と評価を行う「HBG 夢カルテ」を学修成果の点検・評価結果のフィードバックとして導入し、チューターによる適切な指導と評価に活用されていることは評価できる。
		北陸大学	「北陸大学アセスメント・ポリシー」に基づき、薬剤師会等医療系外郭団体及び青年会議所による外部評価を含めた学修成果の点検・評価システムが構築され、機能している点は評価できる。
基準 4. 教員・職員	4-1. 教学マネジメントの 機能性	愛知文教大学	学長のリーダーシップのもと、教員と職員が協働して学生と向き合う学修支援及び学生生活支援の体制が整備されており、職員は学生や教員からだけでなく職員同士も「先生」と呼ぶ習慣が根付いていることは評価できる。
		鎌倉女子大学	調査・企画部門として学事調査研究センター教育調査企画室が置かれ、IR 業務等により教学マネジメントにおける学長の時宜に応じた適切な判断の補佐がされていることは評価できる。
	4-2. 教員の配置・ 職能開発等	鎌倉女子大学	FDの取組みとして、専任教員を2、3人ずつのグループに分け、授業参観及び意見交換などの「ピアレビュー」を行い、授業方法の相互改善へとつなげていることは評価できる。
		京都先端科学大学	教員の人事評価において、「教育重視型」「実習重視型」「教育・実習型」「教育・研究型」「研究特化型」のいずれかのタイプとして行うなど、公平性を高める工夫をしていることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 4. 教員・職員	4-2. 教員の配置・職能開発等	修文大学	平成 29(2017)年度からティーチング・ポートフォリオ（教育業績記録）の導入、教育改善委員として任命した学生代表からの意見聴取、相互研修型授業参観など、教育改善に向けた多くの取組みを行っている点は、評価できる。
		湘南医療大学	FD 活動長期計画に基づき、教育方法と研究領域をテーマにした組織的で持続的な数多くの FD 活動を積極的に実施していること、母体グループの全体研修会に計画的に全教職員が参加していることは評価できる。
		日本歯科大学	精緻な教員評価要項を制定し、またその教員評価の結果を「ベストレクチャー賞」や「ベストティーチャー賞」といった表彰制度や賞与・昇任審査などの待遇・人事に活用していることは、評価できる。
		びわこ学院大学	「教育研究活動自己目標設定報告書」「教育研究活動等の業績申告票」及び「教育研究活動等自己評価報告書」により、教員評価を実施し、学長が全教員の年間実績を評価して、教授会で総評を述べている点は、高く評価できる。
	4-3. 職員の研修	鎌倉女子大学	「階層別研修」「高等教育研修」「ビジネススキル研修」「コンプライアンス・危機管理研修」「業務別研修」「全学業務研修」「プロジェクト研修」「出向研修」など、さまざまな区分においてそれぞれ豊富な研修プログラムを実施しており、手厚い研修制度が整備されていることは評価できる。
		京都先端科学大学	職員人事考課制度の実施については、日常業務において所属長と課員との人事考課面談や日常のコーチングにより部下の育成を図るとともに、組織目標に基づいた個人目標の設定を行い、その達成・貢献度合を評価し、昇給、昇任等へ反映させていることは評価できる。
		神戸常盤大学	職員の学生指導にかかる指導力育成のため「キャリア・デベロップメント・アドバイザー」「キャリアコンサルタント」の資格を職員に取得させ、資格取得者による研修会を実施していることは評価できる。
		東京工科大学	職員の「自己啓発支援制度」を設け、大学院の修学支援、資格取得の奨励及びデータサイエンス技術など時代に応じた自己啓発を積極的に推進しており、利用実績は良好であり現在とはもとより将来に向けて必要な職員の資質・能力向上を図っていることは高く評価できる。
		新潟国際情報大学	コロナ禍にあっても、「新潟 SKY プロジェクト」の企画でオンラインによりウィズコロナに関するセミナーを実施し、時宜を得た内容の研修を行った点は評価できる。
		梅光学院大学	「梅光学院教職員奨学金規程」を定め、教職員の業務知識・技術の修得に対して奨学金による援助を実施している点は評価できる。
		比治山大学	自己啓発研修補助により職員の資格取得、自己研さんに資するための補助金制度を設け、自己啓発を推奨している点は評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 4. 教員・職員	4-3. 職員の研修	広島文化学園大学	FD・SD 研修は、4 キャンパスの全職員参加による集合研修が計画的に行われ、また、部門別・職階別など多岐にわたる研修を積極的かつ継続して行われている点は評価できる。
		びわこ学院大学	大学における IR 機能の充実のため、職員二人に養成講座を受講させ、IRer (Institutional Researcher) の資格を取得させたことは評価できる。
		北陸大学	SD の取組みの一つとして、「FDer (ファカルティ・ディベロッパー)」及び「SD コーディネーター」の育成を実施し、SD 活動の活性化につなげている点は評価できる。
		北海学園大学	学校法人北海学園と国立大学法人小樽商科大学との職員交流研修は、設置形態の枠を超えて広く大学業務に関して研修するものであり、大学出版会に関する意見交換によって「北海学園大学出版会」の立上げを行った実績を含め評価できる。
		北海道科学大学	新人職員育成計画書などにより、新人職員の教育の道筋を適切に位置付け、特に新人職員が採用後 6 か月間のフォローアップ研修を経て、役員の前でプレゼンテーションをする取組みは、新人職員の目的意識を明確にするものとして評価できる。
	4-4. 研究支援	江戸川大学	科学研究費助成事業における評価、採択の状況により支給する独自のインセンティブ経費を学内規則により定め、かつ、学内において開催する「科研費検討会」などにより、教職協働で獲得に向けた意識や意欲を高めている点は評価できる。
		鎌倉女子大学	研究費の適正な執行のために整備・公表されている「研究費執行マニュアル」が、予算管理や申請手続、購入物品の管理・保管・廃棄、検収方法等、旅費、証ひょう書類、FAQ 等に至るまで詳細に解説されたものになっている点は評価できる。
		京都先端科学大学	総合研究所に「アクティブヘルス支援機構」を設置するなど、学部横断型研究を実施する環境を整備していることは評価できる。
		成安造形大学	産官学連携などの知識や技能を有する「技能職員」を配置し、教員の科学研究費助成事業の申請及び受託研究事業のコーディネート等への支援体制をとっている点は評価できる。
		東京工科大学	「人工知能研究会」を設置し、各研究テーマにおいて、複数の学部の教員や学生が研究に参加する体制としていることは、研究にさまざまな視点を取入れられるとともに、教員交流や協力関係を構築できている点は、高く評価できる。
		東京工科大学	理化学機器を共同利用できる「ナノテクセンター」を設置することで、高額・高性能な機器の導入を行いやすくするとともに稼働率向上を図っており、費用対効果は良好なものとなり、経営面からも有効に機能させていることは評価できる。
		西日本工業大学	学長査定特別教育研究事業では、従来からの部門である重点教育、重点研究、課外科学技術活動、地域志向、SDGs に加えて、新たに「カーボンニュートラル推進部門」を設け、大学の目的及び教育目標に即した研究活動を推進していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 4. 教員・職員	4-4. 研究支援	日本歯科大学	研究活動のため、研究設備の整備のほか研究倫理等の各種講習会の実施など、十分な支援が行われていることは評価できる。
		びわこ学院大学	具体的な研究倫理及び研究に関し遵守すべき事柄に関する研修の取組みとして、年1回コンプライアンス研修会を実施し、原則として全教職員に出席を求めた上で、事後に「理解度チェック」と「誓約書」の提出を求めていることは評価できる。
		北海学園大学	研究費は職位に区別なく同額を配分し、予算執行に対し流動的な使用基準は、研究設備の充実や研究領域の拡大など若手研究者にとって有効であり評価できる。
		北海学園大学	開発研究所は、「地域に貢献するシンクタンクの機能」「開発資料センターとしての機能」「国際的共同研究機能」を有し、現在に至るまで地域の経済開発・社会開発の中心として重要な役割を担っていることは評価できる。
基準 5. 経営・管理と財務	5-1. 経営の規律と誠実性	大妻女子大学	「学校法人大妻学院危機管理規程」に基づき作成された「危機管理マニュアル」等は危機レベル別にまとめられるなど、さまざまな工夫がなされており、危機管理広報についてトレーニングを実施するなど、実効性を高めている点は評価できる。
		嘉悦大学	過去の事案を契機として、法人におけるガバナンスとコンプライアンスの向上を図り、法人運営の適正化に取組み、大きな改革を実現した点は評価できる。
		九州国際大学	ハラスメントに関して「学校法人九州国際大学職場におけるハラスメントの防止に関する規程」について、具体的な事例を示しながら、規則を定めている点は評価できる。
		神戸常盤大学	FAST (First Aid Support Team: 民間救急講習団体)として神戸市から認定を受けて、神戸市消防局の講習を受けた多くの教員がインストラクターとして登録されており、地域への貢献、全ての新生生の準正課として救命士講習プログラムを実施している点は評価できる。
		昭和大学	法人や大学の職員を含む活性化推進委員会に期間限定のプロジェクトを設置し、喫緊の課題の解決や大学の更なる魅力づくりにつなげる取組みを継続的に実行している点は評価できる。
		帝京大学	平成 29(2017)年 3 月に板橋キャンパスが大学・病院における事業所としては初めて東京都から「優良特定地球温暖化対策事業所(準トップレベル事業所)」に認定され、令和 2(2020)年度まで継続して認定を受けていることは評価できる。
		同朋大学	耐震化、バリアフリー化を実施した法人の建物が、防災拠点として避難所に指定されており、名古屋市の防災備蓄物資の保管管理を担い、地域防災に貢献している点は評価できる。
		広島文化学園大学	中期経営計画の進捗について大学・短期大学協議会で計画内容や目標数値の検証を行い、当該経営計画の年度改訂版の作成に反映させるなど、継続的な努力を図っていることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 5. 経営・管理と 財務	5-1. 経営の規律と誠実性	北陸大学	中期計画に重要目標達成指標及び重要業績評価指標を取入れ、進捗管理及び検証を組織的に行っていることは評価できる。
		北海学園大学	北海道地方に本社を置く会社の責任者に就く卒業生が多く、また、公務員を多数輩出する大学として認知されていることは評価できる。
		武蔵野音楽大学	江古田キャンパスは、最新の設備をそろえ、衛生面、環境保全、防災・災害対策などの安全配慮や危機管理において優れており評価できる。
	5-2. 理事会の機能	福山平成大学	理事会議事録は、議題に対する説明の内容が詳細に記載され、法人の使命・目的の達成に向けた意思決定が明確にできていることが確認できる点は評価できる。
	5-3. 管理運営の円滑化と相互チェック	京都先端科学大学	「学長補佐会」「将来構想検討部会」「提案 BOX」により、教職員の課題意識やアイデアをくみ上げ、施策として実現していることは評価できる。
		京都先端科学大学	常勤監事による締結予定の契約の全件確認や英語の授業の視聴、また教学部門の定例会議に参加し、運営状況の把握や問題点の改善を促すなど、監事として積極的に業務内容や教学実態を把握していることは評価できる。
		昭和大学	教職員から参加の希望を募って開催されている「至誠塾」の取組みにより、理事長や学長等を講師として大学運営に必要な学習を行い、各自が設定した研究テーマにおける課題解決策や新たな取組みを提案・実行できる環境を整備している点は評価できる。
		東京工科大学	法人事務組織の会議体である「法人部長会」や各設置校の次長職以上が一堂に会して実施する「合同部長会」を定期的実施し、理事長をはじめとした関係者間の情報共有、意見調整が行われている点は評価できる。
	5-4. 財務基盤と収支	江戸川大学	法人の中長期計画と連動した学生募集体制の再構築による効果を、志願者急増、定員未充足状態の解消という具体的な結果で示し、短期間のうちに飛躍的な収支構造の改善へつなげたことは、高く評価できる。
		神戸常盤大学	私立大学等改革総合支援事業等、補助金の獲得に意欲的に取り組み、成果を挙げていることは評価できる。
		仁愛大学	外部資金の獲得に全学をあげて積極的に取り組んでおり、受託研究・共同研究・奨学寄付金については、各年度地方公共団体や民間企業等から継続的に助成を受けるなど一定の成果を挙げている点は評価できる。
	5-5. 会計	同朋大学	監事、監査法人、内部監査室で構成される「監査連絡会」が内規に基づき実施され、情報交換が活発に行われている点は評価できる。
		麗澤大学	平成 30(2018)年に会計システムにペーパーレス化機能を追加し、より効率的な会計処理が実施されるようになり、コスト削減に貢献していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 6. 内部質保証	6-2. 内部質保証のための自己点検・評価	大妻女子大学	IR 活動の結果、学内教職員サイトに IR に関して、アンケートの報告書やファクトブック等を掲載し、法人や大学が置かれている現状の把握や改善活動に生かしている点は評価できる。
		九州国際大学	第三者で構成される外部評価委員会を設置し、自己点検・評価についての客観的な検証・点検を行うとともに、「DP 達成度分析」と「map 分析」を行い、授業方法やシラバス改善を図っている点は評価できる。
		湘南医療大学	教学全体で自己点検・評価を行い、平成 28(2016)年度から自己点検評価書、教育・研究活動実績を含む事業活動報告書をホームページで毎年公開している点は評価できる。
		長崎外国語大学	大学は毎年度自己点検・評価を行い、その結果を次年度の事業計画及び予算策定などに反映させている仕組みは評価できる。
		広島文化学園大学	IR 推進センターは、内部質保証を中核とした情報の収集、調査・分析を組織的に行い、各種データの一元管理を推進し、教学と経営に関する政策形成、実際の改革・改善行動の具現化に寄与している点は評価できる。
		福山平成大学	アセスメント・ポリシーに基づく自己点検・評価を機能的に実施、IR データ集を策定し有益な教育情報として学内外に公開している点は、高く評価できる。
		北陸大学	各学部又は部局等に分散する教学関係の各種データを集計、集約、可視化した「分権型教学 IR データ分析環境」を構築し、教職協働で分析するなど、共同利用可能な環境を整備している点は評価できる。
		北海道科学大学	大学組織規程に規定する「Double PDCA Cyclic Loops」は、大学の自己点検・評価に有効な取組みとして評価できる。
	6-3. 内部質保証の機能性	志学館大学	内部質保証の取組みとして、大学が作成している「内部質保証のポリシー」「大学運営及び教育実施の質保証制度」に基づき、「卒業者が求める大学教育の質に関する調査報告」「鹿児島県の産業界が求める人材像に関する調査報告」などの IR 調査及び自己点検・評価を行い、それらの結果を大学運営及び教育改善に反映させていることは評価できる。
		仁愛大学	第三者から意見を聴取する仕組みとして、高等教育機関関係者、大学顧問、理事、自治体代表者等から成る「参加会」、加えて、今年度から大学運営の専門的な立場から意見を聴取する「外部評価部会」を組織し、内部質保証の機能性を高める仕組みの確立をしていることは評価できる。
		長崎外国語大学	三つのポリシーに基づく教育の質保証に関わる具体的な項目について、三つの階層（大学全体・学位プログラム・授業科目）ごとに、アセスメント及び点検・評価を行い、その結果を教育の改善に反映するなど、教育の内部質保証が機能していることは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 6. 内部質保証	6-3. 内部質保証の機能性	富士大学	IR センター等による幅広い調査・分析を生かし、自己点検・評価委員会が内部質保証のための具体策を推進し、改善・向上策を中期計画の次年度計画に反映させるなど、内部質保証の PDCA サイクルを有機的かつ効果的に回している点は高く評価できる。
		北陸大学	中期計画に重要目標達成指標及び重要業績評価指標を設定するなど、客観的指標に基づく内部質保証のための PDCA サイクルの仕組みを確立し、大学運営又は教育の改善・向上に一定の成果を挙げている点は評価できる。

2. 短期大学

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 1. 使命・目的等	1-1. 使命・目的及び教育目的の設定	大妻女子大学短期大学部	時代の急激な変化と社会の変貌に伴い、具体的な女性の育成像を見直すため、平成 20(2008)年の創立 100 周年、平成 30(2018)年の創立 110 周年を機に、建学の精神を継承しながらも、短期大学の使命及び教育目標を機動的に見直している点は評価できる。
		比治山大学短期大学部	文部科学省の大学教育再生加速プログラムに採択され、6 年間にわたり、アクティブ・ラーニングの推進及び学修成果の可視化に真摯に取り組み、「大学教育再生加速プログラム委員会」による事後評価においても、成果が認められた点は評価できる。
		鎌倉女子大学短期大学部	必修科目「建学の精神」「建学の精神実践講座」が、現代の女性の生き方について主体的に考え、教養を高めることが可能な内容となっている点は、評価できる。
		鎌倉女子大学短期大学部	学びの文化として、授業の開始時・終了時、登校時・下校時に全教職員及び学生が「一礼の姿勢」をとる慣わしになっていることは、評価できる。
	1-2. 使命・目的及び教育目的の反映	大妻女子大学短期大学部	理事長の諮問機関である将来展開委員会が中心となり、使命・教育目標の見直しを含む中期計画策定の検討過程において、中堅・若手の教職員が中心的役割を担い、その進行状況については、教職員で情報の共有を行うなど、使命・目的及び教育目標の策定などに教職員が積極的に関与・参画している点は、評価できる。
	基準 2. 学生	2-1. 学生の受入れ	昭和音楽大学短期大学部
びわこ学院大学短期大学部			児童学コースの総合型選抜(AO)において、小論文と個人面談で選考する「通常方式」に加え、「びわ学ピアノグレード検定」のグレードを点数化し利用できる「実技重視方式」を追加したことは、系列校以外の学生募集にもつながる取組みであり評価できる。
2-2. 学修支援		昭和音楽大学短期大学部	シニア世代を対象とした「音楽と社会コース」を開設していることは、国の生涯学習振興政策、将来の少子化対策の両面から評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 2. 学生	2-2. 学修支援	びわこ学院大学短期大学部	ジェネリックスキル測定テストなどの客観的評価と「学修の記録」などの主観的な評価をもとに個別指導を実施している点は、学生の意欲を引出すことにつながっており、評価できる。
		大妻女子大学短期大学部	産業構造や社会構造の変化に対応し、ビジネス社会、地域社会、家庭で活躍していく女性のために、全学科の学生や卒業生をはじめとする社会人女性を対象とした正課外講座「大妻マネジメントアカデミー(OMA)」を開講している点は高く評価できる。
	2-3. キャリア支援	比治山大学短期大学部	「JOB HUNTING GUIDE」は、就職活動に関する情報が網羅されており、優れたキャリア支援ツールであることは評価できる。
		びわこ学院大学短期大学部	地域にある事業所や企業と連携し、社会資源を活用しながら体験的な学修の場を設け、学生に対し将来をイメージすることや職業選択しやすい環境を整備していることは評価できる。
		鎌倉女子大学短期大学部	「Career Guidebook」に「障害のある学生の就職活動」という項目を設け、就職活動の進め方に関する情報を広く公開するとともに、教職員が連携して障がい種別・状況に応じた個別支援を実施している点は評価できる。
	2-4. 学生サービス	大阪音楽大学短期大学部	「遠隔地出身者支援給付奨学金」をはじめとする短期大学独自の給付奨学金、授業料減免、助成金など、多様な奨学金・支援制度が設定されており、学生の学修機会拡充につながっていることは評価できる。
		昭和音楽大学短期大学部	短期大学と卒業生組織が補助し、学生食堂で100円朝食と200円夕食を提供している。学生の満足度も高く、経済的支援・食育・栄養管理の各方面に効果のある優れた取組みと評価できる。
	2-5. 学修環境の整備	大阪音楽大学短期大学部	音楽短期大学として教育研究目的を達成するための施設が充実しており、学修成果の発表や実践的な学びの場、社会連携活動の一環として公開講座や公演などが開催できる場としても機能していることは、評価できる。
		昭和音楽大学短期大学部	図書館において、ポイント制度を導入したことで、図書館利用者の拡大・延滞の減少など効果を上げていることは評価できる。
		鎌倉女子大学短期大学部	「英語①」「英語②」「英語コミュニケーション①」「英語コミュニケーション②」において、教育効果を上げるために少人数で授業を実施していることは評価できる。
基準 3. 教育課程	3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定	鎌倉女子大学短期大学部	「非常勤講師懇談会」を実施し、教育方法を共有するだけでなく、ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーについても直接説明する機会を設けることで、教育の質を保つ工夫を行っている点は評価できる。
	3-2. 教育課程及び教授方法	北陸学院大学短期大学部	シラバスの作成に当たっては、「年度教授要目(シラバス)作成に関するお願い<専任教員><非常勤講師用>」を作成し、記述要件を満たした体系的なシラバスになっているかについて、FD部会が教育方針に基づき詳細に確認している点は評価できる。
	3-3. 学修成果の点検・評価	びわこ学院大学短期大学部	卒業時のディプロマ・ポリシーの「達成度シート」の配付に当たり、ゼミ担当教員が個別に声がけをして学生とともに振り返りを行う仕組みは評価できる。

基準	基準項目	機関名	優れた点
基準 3. 教育課程	3-3. 学修成果の点検・評価	鎌倉女子大学短期大学部	アセスメントプランの評価指標として活用するため、「学修環境・行動調査」を毎年実施し、詳細な分析結果を学科にフィードバックして教育の改善に具体的につなげている点は評価できる。
基準 4. 教員・職員	4-1. 教学マネジメントの機能性	鎌倉女子大学短期大学部	調査・企画部門として学事調査研究センター教育調査企画室が置かれ、IR 業務等により教学マネジメントにおける学長の時宜に応じた適切な判断の補佐がされていることは評価できる。
	4-2. 教員の配置・職能開発等	びわこ学院大学短期大学部	「教育研究活動自己目標設定報告書」「教育研究活動等の業績申告票」及び「教育研究活動等自己評価報告書」により、教員評価を実施し、学長が全教員の年間実績を評価して、教授会で総評を述べている点は、高く評価できる。
		鎌倉女子大学短期大学部	FD の取組みとして、専任教員を 2、3 人ずつのグループに分け、授業参観及び意見交換などの「ピアレビュー」を行い、授業方法の相互改善へとつなげていることは評価できる。
	4-3. 職員の研修	比治山大学短期大学部	自己啓発研修補助により職員の資格取得、自己研さんに資するための補助金制度を設け、自己啓発を推奨している点は評価できる。
		鎌倉女子大学短期大学部	「階層別研修」「高等教育研修」「ビジネススキル研修」「コンプライアンス・危機管理研修」「業務別研修」「全学業務研修」「プロジェクト研修」「出向研修」など、さまざまな区分においてそれぞれ豊富な研修プログラムを実施しており、手厚い研修制度が整備されていることは評価できる。
	4-4. 研究支援	びわこ学院大学短期大学部	具体的な研究倫理及び研究に関し遵守すべき事柄に関する研修の取組みとして、年 1 回コンプライアンス研修会を実施し、原則として全教職員に出席を求めた上で、事後に「理解度チェック」と「誓約書」の提出を求めていることは評価できる。
鎌倉女子大学短期大学部		研究費の適正な執行のために整備・公表されている「研究費執行マニュアル」が、予算管理や申請手続、購入物品の管理・保管・廃棄、検収方法等、旅費、証ひょう書類、FAQ 等に至るまで詳細に解説されたものになっている点は評価できる。	
基準 5. 経営・管理と財務	5-1. 経営の規律と誠実性	大妻女子大学短期大学部	「学校法人大妻学院危機管理規程」に基づき作成された「危機管理マニュアル」等は危機レベル別にまとめられるなど、さまざまな工夫がなされており、危機管理広報についてトレーニングを実施するなど、実効性を高めている点は評価できる。
基準 6. 内部質保証	6-2. 内部質保証のための自己点検・評価	大妻女子大学短期大学部	IR 活動の結果、学内教職員サイトに IR に関して、アンケートの報告書やファクトブック等を掲載し、法人や短期大学が置かれている現状の把握や改善活動に生かしている点は評価できる。